

一般社団法人四日市青年会議所  
2025-2029 中長期ビジョン

私たちが住まう三泗地区  
東海道四日市宿を有し その歴史と成り立ちは古く  
1300 年ほど前にまでさかのぼります

その歴史は単純なものではなく  
安政の大震による港の壊滅  
第二次世界大戦下の四日市空襲  
高度経済成長期の大気汚染  
現在にいたるまで様々な危機的状況がありました

そのたびに地域に住まう先人たちが手を取り  
一丸となって様々な困難を乗り越えてきました

四日市青年会議所も例外ではなく 1955 年の創立以来  
様々な社会課題に取り組み 現在まで続く未来を作ってきました

2025 年 四日市青年会議所は 70 周年を迎えます  
情報化が進み 発足当時とは環境も変わってきました  
だからこそ 今一度青年会議所の原点に戻り  
これから約 5 年間を見据えた運動指針をここに策定し  
まちのために 私たちにしかできない運動を展開してまいります

三泗地区は、様々な課題に直面しながらも地域の発展と持続可能な未来に向けて希望と可能性を抱いています。本ビジョンでは、地域、経済、人材、組織という4つの観点から、私たちの活動を通じた中長期的な発展の方向性について述べます。

## ■地域

### 【地域の脅威】

三泗地区は人口減少と少子高齢化が進行しており、これに伴う社会的な影響が顕在化しています。平成20年以降、人口は減少傾向にあり、合計特殊出生率が三重県平均を下回っている地域もある状況です。また、国道を始め慢性的な渋滞が多く、北勢バイパス、四日市港臨港道路(霞4号線)、四日市鈴鹿環状線の早期開通・延伸や公共交通推進が求められます。地震や津波、台風といった自然災害への備えとして、防災・減災対策の強化も地域社会にとって重要な課題です。さらには、空き家問題も深刻化しており、管理不全の空き家が増えると倒壊や火災発生、景観を損なうなど様々なリスクがあります。

### 【地域の機会】

三泗地区には多文化共生が推進されている地域があります。そのため外国人定住のためのノウハウが蓄積されており、雇用などにより働き世代の転入も多いことから、域外からの人口流入を促進する基盤があります。また、交通の要所としての価値が今後さらに重要となる中で、防災・減災に配慮した新たなまちづくりの機会が生まれています。

### 【地域の四日市青年会議所に求められる行動】

地域の団体を結びつけて人口増加に向けた事業を行い、人口流出に歯止めをかけ、人口流入を促進することが期待されています。

具体的には・・・

- ・人口流出を防ぐため、地域で行われている祭りの活性化に寄与します
- ・地域での快適な生活に寄与するため、インフラ整備・公共交通の推進を行います
- ・地域での安心な生活に寄与するため、防災・減災対策を実施します
- ・域外からの人口流入を促進するため、空き家の活用に取り組みます
- ・地域での活動に対する効果をさらに高めるため、行政との連携を強化します

## ■経済

### 【経済の脅威】

産業都市としてコンビナートや半導体工場などを有するという強みを持つ一方で、特定産業に依存し続けることへのリスクがあります。物価の高騰や人件費の上昇によって、地元企業が資金繰りや人材不足といった課題に直面している中、多様な産業の育成が求められています。また、後継者不足による黒字廃業という問題もあり、第三者への事業引継ぎや事業承継税制の活用などが急務になっています。さらに、三泗地区は観光資源も有していますが、観光業はパンデミックや自然災害、経済不況の影響を受けやすい状況にあります。

## **【経済の機会】**

中央通り再開発事業やJR四日市駅前への大学設置、みなとまちづくりプランなど、中心市街地が今後さらに発展する機会があります。また、地域資源としての豊かな自然、伝統工芸品、農産物を活用することで、地元経済の振興を目指すことができます。

## **【経済の四日市青年会議所に求められる行動】**

中小企業への適切な支援を行い、地域資源をブランド化して付加価値を高めることで、地域経済の活性化に貢献する役割が求められています。また中心市街地の発展に関わる周辺企業の関わり方を考えていく必要があります。

具体的には・・・

- ・地域で多様な産業を育成するため、事業承継や起業支援に関する特区を検討します
- ・中心市街地の発展をさらに推進させるため、周辺企業の関わり方を検討します
- ・新しい地域の魅力を創出するため、駅周辺の町おこし事業を実施します
- ・地域資源をさらに活用するため、地産地消を推進します
- ・地域経済をさらに発展させるため、三泗地区の魅力を国内外に発信します

## **■人材**

### **【人材の脅威】**

地域の将来を担う青少年の育成において、友人・教職員との関係や困窮などにより学校に通えない子どもたちが増加しており、学校教育だけでは対応しきれない状況が生まれています。さらに、都市部への若者の流出が続く中で、女性や国内外からの移住者など、多様な人材が活躍できる教育システムの構築が求められています。

### **【人材の機会】**

三泗地区でも技術革新が急速に進んでおり、超スマート社会（Society5.0）を迎える中で、若者や女性、移住者などの個性を活かした人材育成の在り方を考える機会があります。

### **【人材の四日市青年会議所に求められる行動】**

地元の教育機関などと連携し、スキルアップの機会を増やして地元であるかどうかに関わらず地域愛を持って活躍するリーダーを育成することが期待されています。

具体的には・・・

- ・若者を支援するため、様々な状況に置かれた青少年の育成事業を実施します
- ・多様な人材を活躍させるため、女性や外国人の就労環境整備および起業支援を実施します
- ・多様な人材の個性を活かすため、LGBT研修を実施します
- ・技術革新に対応していくため、最新技術に関する勉強会を実施します
- ・地域愛を持ったリーダーを育成するため、研修事業を実施します

## **■組織**

### **【組織の脅威】**

会員数の減少や会員期間の短縮が課題となっています。これにより、活動や運営に必要な資金の不足、外部との連携不足、執行部のなり手不足が生じています。また、理事職へのマイナスイメージを持つ方へのアプローチも重要な課題です。

### 【組織の機会】

若い世代も少しずつ増えているので、そのようなメンバーと協力して組織運営や事業の在り方を見直す機会となっています。また新型コロナウイルスによるパンデミックも落ち着き、会員のための研修プログラムを実施、または更新しやすい状況にあります。

### 【組織の四日市青年会議所に求められる行動】

地域のあらゆるパートナーと協働し、若者に適した事業を実施して定期的に若者と交流する仕組みを構築することが求められています。また研修プログラムや広報活動を強化して、四日市青年会議所の組織としての成長を目指す必要があります。

具体的には・・・

- ・会員拡大について若い世代にアプローチするため、年代別の交流事業を実施します
- ・執行部のなり手不足を解消するため、オリエンテーションを強化します
- ・地域から求められる団体となるため、広報活動の見直しと強化を行います
- ・他団体との相乗効果を生むため、連携強化および合同事業を実施します
- ・理事職へのマイナスイメージを払拭するため、時代に合わせて組織運営を見直します

この中長期ビジョンに基づき、私たちは地域の課題に取り組みながら経済の活性化や人材育成、組織の強化を図り、持続可能で魅力ある地域社会の実現を目指します。地域住民、企業、行政、そして四日市青年会議所が協力し合うことで、次の世代に引き継ぐことができる誇り高い地域を創り上げていきます。

新型コロナウイルスによる  
パンデミックが落ち着いても  
その後物価高騰や自然災害など  
新しい脅威が生まれています

その一方で  
多彩なイベントの再開  
新しい生活様式による働き方改革など  
新しい機会も増えています

この中長期ビジョンには  
現在の脅威や機会の内容を鑑みて  
これから約5年間で解決していきたい  
社会課題が記されています

私たちは現状に甘んじることなく  
新たな成長を追い求めます  
また過去への感謝を忘れず  
未来を切り拓く挑戦を続けてまいります

一般社団法人四日市青年会議所

第70代理事長 石川 史織  
未来創造特別会議 議長 野呂 京志  
メンバー 稲垣 雄介 加藤 信宏  
後藤 亮太 杉谷 俊輔  
仲野 仁裕 秦 美郷